総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成26年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（5/11）

	評価区分（※）	評価結果（ⅠとⅡとⅢの平均値）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 総合評価	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区（柏市）	正	3.8	3.9 進捗度 ・地域活動の参加者の増加 105% ・駅前148街区複合開発（業務施設、商業施設、賃貸住宅、ホテル、ホール）におけるCO2排出原単位の削減 130% ・駅周辺5街区（住宅部門 約2,500戸対象）におけるCO2排出量の削減 10% 等	3.6 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 等 地域独自の取組 ・柏市指定居宅サービス等事業人員設備運営基準等条例 改正 ・電気事業法第17条第1項の規定による特定供給の供給先に関する規制緩和	4.0	・多岐にわたる取組みがほぼ着実に進捗しており、特に生活ライフライン設備への取組みは先駆的であるなど、全体的に十分に優れている。 ・地域エネルギーについて複合街区、業務施設のCO2排出原単位の削減は目標を上回る成果を上げている一方、周辺を含む住宅区域での具体的な事業の推進も期待される。 ・今後は施設の利用の活発化に対応して削減率を維持すること、住宅区域での連携参加に努められたい。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。